

水産物の市況について(令和2年8月及び令和2年9月)

—東京都中央卸売市場における令和2年7月(令和2年7月21日～令和2年8月20日集計)の市況と、
令和2年9月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和2年8月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや減少し、前年同月比では横ばいでした。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月並に推移し、前年同月よりやや弱含みに推移しました。

II 令和2年9月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、鮮魚の大型サイズの水揚げが引き続き少ないことからやや減少と見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、銀さけを主体にやや減少すると見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、低調な漁獲が当面続くことからやや強含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、増加すると見込まれ、卸売価格は、弱含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、やや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、全体では横ばいと見込まれ、卸売価格は、需要が引き続き弱く、全体では横ばいと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は横ばいと見込まれるものの、卸売価格は、量販店で扱いやすい3～4kg級が極めて少なく、2kg以下の小型魚と5～6kg級の大型魚の割合が多いことから、やや弱含みと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、漁が進んで水揚量が増えるため増加すると見込まれるものの、水揚量全体が例年になく極めて低調なことから、卸売価格は、強含みと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	8月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
2年	28	1,078	29	1,067	28	952
前年	28	1,146	32	1,070	33	1,073

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	8月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	491	116	103	99
さけ・ます(平均)	818	99	79	84
(ぎんざけ塩蔵品)	742	99	71	77
(あきさけ塩蔵品)	684	101	66	79
(ときさけ塩蔵品)	1,006	100	79	96
(べにざけ塩蔵品)	1,179	99	90	101
(さけ類冷凍品)	804	100	82	86
さば(生鮮品)	353	94	76	74
するめいか(平均)	773	120	111	115
(生鮮品)	760	122	115	114
(冷凍品)	866	96	98	128
あじ(生鮮品)	646	91	105	99
まぐろ(冷凍品)	1,222	100	79	81
(めばち冷凍品)	876	99	79	80
(きはだ冷凍品)	823	100	106	85
(くろまぐろ冷凍品)	2,966	105	90	87
(みなみまぐろ冷凍品)	1,613	99	80	79
かつお(生鮮品)	527	94	121	95
さんま(生鮮品)	499	95	73	61

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:8月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成27年～令和元年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、小山、山口

直通 03-3591-5612